

～ 栄養部 調理師・行事食紹介 ～



～ 和食 ～
お正月行事食



お節料理
輝生会を代表する一品です



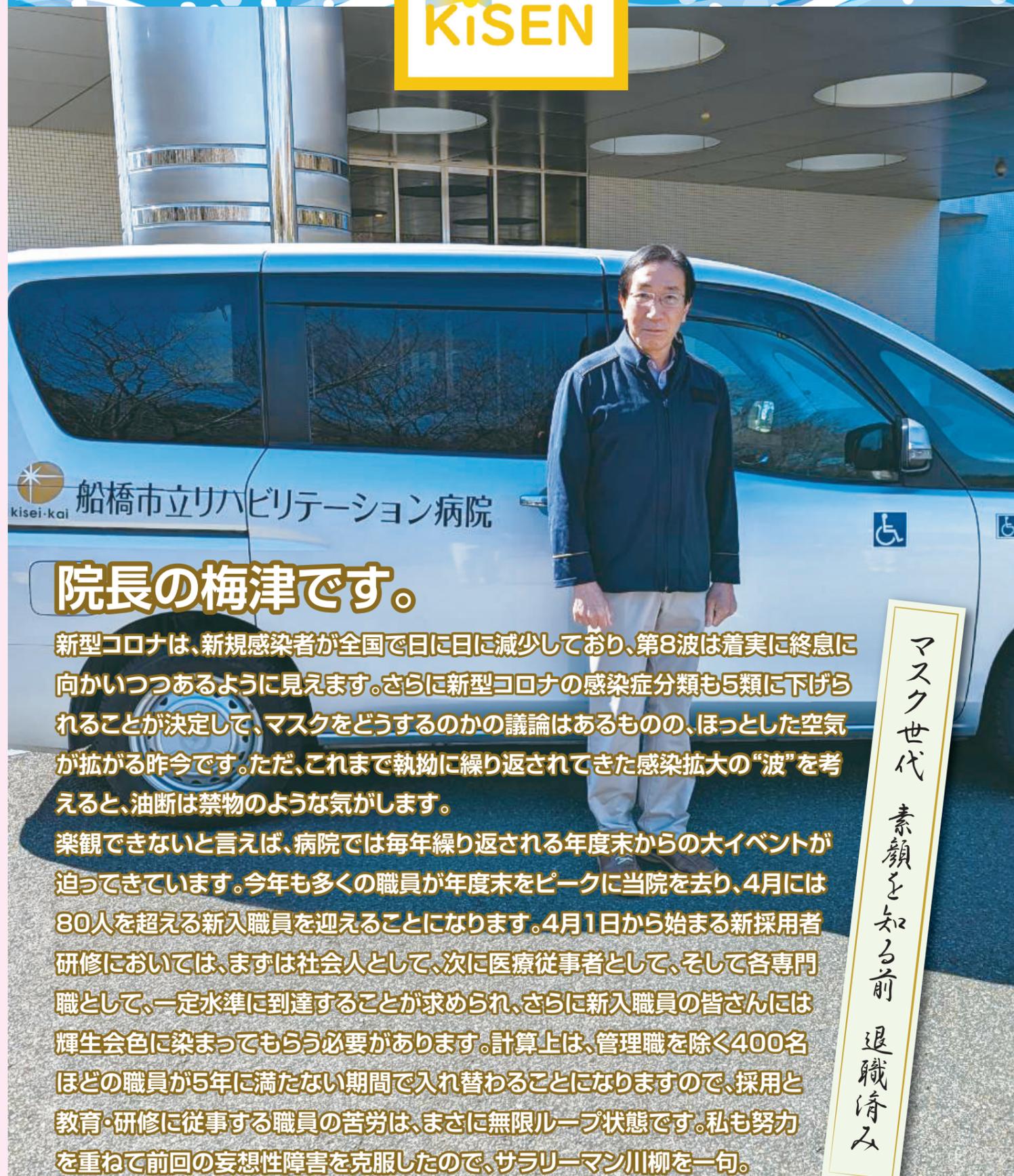
栄養部では、患者さん個人の嗜好も尊重し、栄養状態を十分踏まえた上で食事を提供しています。より美味しいお食事を味わって頂きたいという意向から、和食・洋食それぞれ専門の調理師が調理しています。家庭の食事を意識して、食器は陶器やガラス食器などを使用し手づくりにこだわっています。また、それぞれの季節を感じられる料理づくりに取り組んでおります。



～ 洋食 ～
クリスマス行事食



ビーフシチュー
輝生会を代表する一品です



院長の梅津です。

新型コロナは、新規感染者が全国で日に日に減少しており、第8波は着実に終息に向かいつつあるように見えます。さらに新型コロナの感染症分類も5類に下げられることが決定して、マスクをどうするのかの議論はあるものの、ほっとした空気が広がる昨今です。ただ、これまで執拗に繰り返されてきた感染拡大の“波”を考えると、油断は禁物のような気がします。

楽観できないと言えば、病院では毎年繰り返される年度末からの大イベントが迫ってきています。今年も多くの職員が年度末をピークに当院を去り、4月には80人を超える新入職員を迎えることとなります。4月1日から始まる新採用者研修においては、まずは社会人として、次に医療従事者として、そして各専門職として、一定水準に到達することが求められ、さらに新入職員の皆さんには輝生会色に染まってもらう必要があります。計算上は、管理職を除く400名ほどの職員が5年に満たない期間で入れ替わることになりますので、採用と教育・研修に従事する職員の苦労は、まさに無限ループ状態です。私も努力を重ねて前回の妄想性障害を克服したので、サラリーマン川柳を一句。

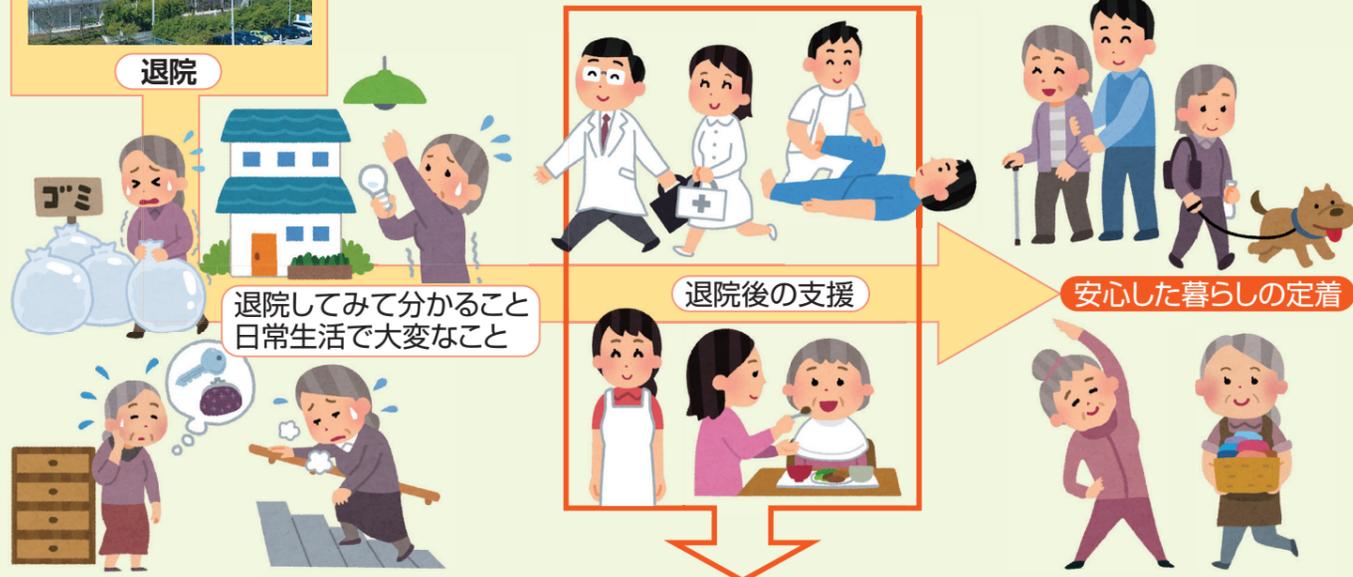
マスク世代
素顔を
知る前
退職済み

当院では入院中だけでなく、自宅で安心して暮らせるよう退院後もリハビリテーションで支援します。

船橋市立リハビリテーション病院



退院後、病院と自宅の環境の変化によって、入院中に出来ていたことが出来なくなり、徐々に自宅に引きこもった生活となるケースが少なくありません。



医療保険

外来リハ

退院後にリハビリが必要な方には継続して理学療法、作業療法、言語療法を実施していきます。

マシンや電気刺激装置なども使用して機能改善や日常生活動作の改善を図っていきます。

入院中と同様に多職種で支援いたします。

また、仕事復帰などの支援も可能ですのでご相談ください。



介護保険

通所リハ

介護保険をお持ちの方は基本的には通所リハビリのご利用となります。

また、外来リハビリを終えられた方で継続的なリハビリをご希望の方にはケアマネジャーの方と相談の上でご利用いただけます。

ご自宅でもお一人で運動ができるように支援させていただき、運動量の確保ができる事をめざします。



訪問リハ

退院後も当院のスタッフがご自宅に訪問し引き続きリハビリテーションを行うことが可能です。

介護認定を受けている方は、介護保険での利用となり、それ以外の方は医療保険の対象となります。

ご自宅に帰ってみて気づくお悩みや新たな課題や目標の解決、退院時に残る不安の解消をお手伝いいたします。

また、ご自宅での生活を想定し、入院中に準備した装具や福祉用具(杖や歩行器、お風呂の椅子など)、手すりなどの住宅改修が実際の生活場面で活用できているかどうか確認・修正することが出来ます。



船橋市リハビリセンターでも退院後、様々なリハ・ケアサービスが受けられます。

船橋市飯山満町2-519-3
TEL. 047-468-2001



クリニック事業

船橋市立リハ病院と同じく、「外来リハ」「通所リハ」「訪問リハ」を実施しています。

退院前には、スタッフが病棟に伺い、十分な引継ぎを行います。



訪問看護ステーション

寝たきり等の方だけでなく、退院直後の生活に不安のある方が在宅生活を円滑にスタートする支援も柔軟に対応しています。

もちろん24時間対応ですので夜間も安心です。



訪問時の看護用キット

介護予防のためのリハビリ事業

市内在住で65歳以上の身体機能の低下した方が対象です。

3ヶ月間で運動習慣の獲得とマシンの操作方法の習得を目指す「パワーリハビリ教室」、教室を終了された方で希望される方が利用する「フォローアップ」、歩行専門の「プールリハビリ」(水深90cm)を実施しています。

通常の「ジム」では少し心配、という方が楽しみながら、利用されています。



リハビリ総合相談

リハビリテーション全般についての相談をお受けしております。「救急病院でリハビリが必要と言われたけれどどうしたら良いの?」「どこでリハビリが受けられるの?」など様々なご相談に対応しています。

ソーシャルワーカーが窓口となり、必要に応じて、医師やリハビリ専門職等と相談し、対応しています。